

最近の事件事例

平成31年4月上旬、漁港沖合いにおいて刺し網漁を終えたA丸及びB丸は、船首甲板上において網にかかった魚を外す作業をしつつ、それぞれ自動操舵で漁港向け航行中、お互いの存在に気がつかないまま、A丸の船首左舷外板とB丸の船尾右舷外板が衝突しました。

○教訓：見張りは確実にいきましょう。
自動操舵の時は特に周辺の船に注意しましょう！！

A丸



B丸



第二管区海上保安本部 海の安全推進室

宮城県塩釜市貞山通3-4-1
(代表) 022-363-0111
(直通) 022-365-9609

🔍 漁船かわら版

検索

過去の春季事事故事例

平成30年6月、1名乗組みの漁船A丸は、磯場において漂泊しつつ、採介漁業の操業準備中、付近に発生していた磯波を右舷正横から受けて転覆し、乗船者が海中転落しました。

なお、救命胴衣を着用していたため、幸い一命は取り留めています。

○ 教訓：磯波が発生しやすい海域においては

- ・波を舷側の正横から受けないように操船することが転覆防止に繋がります。
- ・波の方向に船首を立てるようにして操船すると船体が安定します。

また、波が高い日は、操業を見合わせるよう決断をしましょう！！



再確認！！

救命胴衣着用時の注意点

- ・型式承認されたものを使用する
- ・有効期限内のものを使用する
- ・体型に合ったものを使用する
- ・ベルトをしっかりと締める
- ・固型式は、股ベルトがあると有効である



写真提供：(国研)水産研究・教育機構 水産工学研究所

海の緊急速報

海のもしもは
118番



H31 東北地方 漁船事故発生状況(4月末現在)

青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県
4隻(3隻)	2隻(0隻)	5隻(3隻)	0隻(0隻)	0隻(0隻)	2隻(2隻)

() 内は4月の隻数

死者数：2人